

# 親子聖書日課

NO.1678 2020.11/22-28

名前

[日]主は御言葉を「聞く」と言われずに、「食べよ」と命じられました。私達は心を開いて、御言葉の糧を頂くことです。苦味の混じった、こくのある甘さを味わい、確信をもって御言葉を語る事ができるのです。御言葉を食べましょう。

[月]今日、私達も神から見張り人として立たされています。見張り人の役割は、神の言葉を聞いて、神の代わりに、この世の人々の目を覚まさせることです。もし、見張り人がその使命を果たさず、危険を警告しなければ、人々は滅びるのです。

[火]民は長年主に対して罪を犯したので、裁かれました。「罪の故にパンにも水にも事欠き、やせ衰えていく」のは今日も同じです。飢餓の背景に貪欲があります。罪の楽しみは、惨めな困窮をもたらします。罪を悔い改めるなら、満ち足ります。

[水]主は罪人を救いたいと願い、「憤れるだけ憤り、熱情をもって語った」のです。しかし人々は御言葉を無視して滅ぼされます。それでも主の熱情は変わりませんでした。主は命を捨てて私達を救って下さったのです。それが主の十字架です。

[木]偶像礼拝は過去の話ではありません。主を信じてからも、神以上に心惹かれるものがあれば、偶像礼拝に陥いるのです。仕事もお金も趣味も偶像になります。どんなに大切に思っても、主が捨てよと命じられたら、すぐに捨てましょう。

[金]世の終りの時が来ると、聖書に記されてます。それは主の裁きの時で「銀や金」を持っていても救われません。ただ主を信じ、従う人のみ救われます。お金の執着してはいけません。そのお金を主に献げ、伝道の為に用いるなら、祝されます。

[土]神殿にいながら民は偶像礼拝を止められません。私達も教会にいながら、心は他のものに縛られていませんか。私達には「些細なこと」かもしれませんが、主には「甚だ忌まわしいこと」です。悔い改めて、神だけに依り頼みましょう。



	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 2:1-3:15	口を開いて、私が与えるものをどうすべきですか	
月	3:16-27	私は、あなたを、イスラエルの何としましたか。	
火	4:1-17	彼らは何のゆえにパンにも水にも事欠きましたか。	
水	5:1-17	主である私が憤れるだけ憤り、何をもって語りましたか。	
木	6:1-14	その時、彼らは、私が誰であることを知るようになりしましたか。	
金	7:1-27	主の怒りの日には、銀も金も、彼らをどうすることはできませんか。	
土	8:1-18	彼らがここで行っている邪悪で忌まわしいことをどうすべきですか。	
感想と祈りの課題			